

平成 30 年度中濃支部症例検討会報告

日時：平成 31 年 2 月 2 日（土）16:00～18:00

場所：郡上市民病院 6 階大会議室

参加：35 名（演題発表者 6 名）

春とは名ばかりで、まだまだ寒い日が続く郡上地区です。会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今年度も郡上地区では症例検討会を開催しました。演題数は 6 題ありました。活発な質疑応答や先輩療法士から積極的にアドバイスが行われました。全参加者が有意義な時間を過ごすことができました。

～演題名の紹介～

1. ピクトグラム導入と昼食時の介入
2. 脳卒中後の大腿骨頸部骨折患者に対する予後予測と退院先の検討
3. 大腿骨頸部骨折を呈し変形性膝関節症により ADL・歩行獲得に難渋した症例
4. 多発性骨髄腫により QOL が低下した症例
5. 転倒により腰痛を有した重度片麻痺患者に対する介入
6. 脳梗塞により右片麻痺呈し麻痺側の足趾変形を特徴とした症例

今後も気軽に発表やディスカッションが行えるよう和やかな雰囲気作りを目指し、更に良い症例検討会にしていきたいと思えます。

最後に、座長の藤本先生をはじめ、演題発表された先生方、参加された皆様、そして運営スタッフの皆様にお礼申し上げます。



中濃支部広報 郡上地区担当
県北西部地域医療センター国保白鳥病院
井亦 将康